

## 新型コロナウイルス感染症に関する全国知事会と国との意見交換会

## 結果概要

- 1 日時 令和4年1月11日(火) 17:30~17:45
- 2 参加 岸田内閣総理大臣  
平井鳥取県知事、内堀福島県知事、西脇京都府知事、黒岩神奈川県知事、  
濱田高知県知事、杉本福井県知事

## 3 内容

## (1) 開会あいさつ(公開)

## 【平井知事】

本日は岸田総理はじめ皆様本当にこういう時間を作っていただきありがとうございます。また総理におかれましては、今朝、ぶら下がりの会見でこれからの方針を示されたこと、感謝申し上げたいと思います。

また併せまして、早速、山口、広島、沖縄の3県に、この防止措置、適用していただきました。今までにないスピードでありまして、感謝を申し上げたいというふうに思います。ぜひこれからもいろいろと機動的にやっていかなければならない局面があるかと思っています。今後とも、御指導賜りますようお願いを申し上げます。

今、オミクロン株、非常に難しい状況だと思っています。とにかく感染スピードが速い。そのことが重要であります。また片方で軽症者が多いのではないかということがあります。それで、今日は、ここに知事会の方から、黒岩知事、西脇知事、内堀知事、そして杉本知事や濱田知事、皆揃いまして、お願いをさせていただくことといたしたところでございます。

こうした特性を踏まえた戦略をぜひ、政府としても、示していただきたらありがたいと思います。例えばワクチンのことや経口薬のこと、今日もお話がありました。是非、ワクチンを、早めにスケジュールをきちんと早めに示していただきまして、現場が動けるようにしていただいたり、経口薬を確保いただいたりするなど、お願いをできればと思います。

また戦略を立てて戦略的に我々が動ける、そういう環境を整えていただきたいと思っています。例えば濃厚接触者がおられます。14日間、今、監視しなければならないということになり、3日、6日、10日で検査をします。これは結構手間を取られます。それがさらにはBCP、重要な人材の確保にも支障が出る原因にもなっています。例えばこういうことであるとか、あるいはマスク、そして消毒など、そうしたこといろいろ徹底をすること。ホットスポットを探求すること。こうしたことなど、組織的に我々できる環境を整えていただければありがたいと思います。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 【岸田総理】

まず本日はこうした機会を設けていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

全国でオミクロン株を含めた感染が拡大をしています。オミクロン株の特性を踏まえ、各知事の皆様方のご協力もいただきながら、メリハリのついた対策を進めていく必要があります。本日は、私から3点申し上げさせていただきたいと思います。

まず第1に、全体像で、用意した地域の医療体制をしっかりと稼働させていくことが重要

です。年末にお願いした医療体制の準備状況の自己点検によれば、各都道府県において、病床の確保は順調に進んでおり、今後の鍵となる、在宅、宿泊療養に対する、地域の医療機関数は、計画を3割上回る体制を準備することができました。各知事のリーダーシップに感謝申し上げますとともに、今後、稼動状況の見える化を強化し、動かしていただきますよう、お願いをいたします。

第2に、予防、検査、早期治療の強化も引き続き重要な課題です。特にワクチンについては、3100万人分を対象とする、3回目接種の前倒しが1月、2月に山場を迎えます。専門家によれば、重症化率は低いとされるオミクロン株ですが、高齢者に感染が広がると、重症者が発生する割合が高くなる恐れがあるとのことでした。高齢者を対象とするブースター接種のペースアップを強く要請いたします。どうか各知事におかれましては、大規模接種会場を含めた接種体制の強化への協力をお願いいたします。国としても、必要なワクチンの確実な供給、そして自衛隊による大規模接種会場の設置など、自治体の取り組みを支援して参ります。

そして第3に、今後、さらに感染者数が増加すれば、保健所や自治体業務の逼迫が見込まれます。各自、知事や医療関係者との連携のもと、保健所だけに頼らない、重層的なネットワークづくりを、早急に進めたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。

引き続き、現場で対策に当たられる各知事の皆様と緊密に連携をさせていただいた上で、高い警戒感を持って、対応に当たっていきたいと思っております。ぜひ今後ともご協力いただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。

## (2) 意見交換における主な議論

- 医療体制についてオミクロン株による感染拡大が、想定した確保病床等を大きく上回ることが懸念されることから、医療体制の更なる強化に向け、財政支援の拡充など、必要な支援をお願いしたい。
- オミクロン株の急速な感染拡大を踏まえて、知見の収集による、適切・柔軟な対応が必要と考えており、ワクチンの効果、特に重症化リスクの科学的知見とその特性を踏まえた有効な対策を是非とも示していただきたい。
- 医療従事者が新規感染者や濃厚接触者になることによって、医療が崩壊に向かっているという現象が起きていることから、現状分析と採るべき対策の内容・時期などについて、国の方で主導して、検討していただきたい。
- 欧米では、感染拡大で、交通、物流、ゴミ収集など多方面にも支障が出ており、特に濃厚接触者の隔離期間、感染者の療養期間の見直しをお願いしたい。
- ワクチン及び治療薬の安定的な供給確保をお願いしたい。
- ワクチンの接種体制の強化に向けて、交互接種の有効性、安全性等を分かりやすく説明をいただき、自治体の体制整備に積極的な支援をお願いしたい。また、国の強いリーダーシップで、例えば65歳以上の人は、いつまでに完了させるというようなメッセージを是非出していただきたい。
- 重層的なネットワークづくりについて、感染者等の増加に伴い、健康観察など、保健所の負担が増加していることから、早急に具体的な仕組み、運用方法等をお示しいただきたい。

- 知事の要請に応じた緊急事態宣言等の迅速かつ機動的な発出や時短要請等に係る協力の単価見直し、米軍基地の水際対策の徹底、ワクチン・検査パッケージの見直しなど、地方と連携した感染拡大防止を引き続きお願いしたい。
- 在日米軍基地を抱える自治体の危機感は極めて強いものがあることから、基地におけるオミクロン株検査の実施など、追加的な対策について引き続き国からも働きかけをお願いしたい。